

稲沢市監査公告第 2 号

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 1 9 9 条第 4 項の規定に基づく定期監査及び同条第 2 項の規定に基づく行政監査を実施したので、同条第 9 項の規定により、別紙のとおり公表する。

令和 7 年 3 月 2 7 日

稲沢市監査委員	樋 口 光 男
同	平 岡 弘 行
同	曾我部 博 隆

定期監査及び行政監査結果報告書

第 1 監査の対象及び実施期間

- 1 教育委員会、消防本部、総務部、公平委員会事務局、選挙管理委員会事務局、議会事務局、会計課及び監査委員事務局
令和 6 年 9 月 11 日から令和 6 年 11 月 25 日まで
- 2 市民病院及び上下水道部
令和 6 年 10 月 21 日から令和 6 年 11 月 29 日まで
- 3 経済環境部、まちづくり部及び総合政策部
令和 6 年 12 月 6 日から令和 7 年 1 月 22 日まで
- 4 建設部、子ども健康部及び市民福祉部
令和 7 年 1 月 10 日から令和 7 年 2 月 14 日まで

第 2 監査の方法

監査を実施するにあたり、あらかじめ対象課等から提出されたグループ別職員担当事務一覧表、歳入・歳出執行状況一覧表、光熱水費調、委託料調、使用料及び賃借料調、工事請負費調、負担金調、補助金調、交付金調、施設状況調、主要事業の進行管理状況調、収入未済額収納状況、補正内訳、流用（充用）内訳、電話料調（学校）、独立行政法人日本スポーツ振興センター調（学校・保育園）、諸帳簿一覧表（学校）及び賄材料費調（保育園）と関係帳簿、書類とを照合するとともに、関係職員から説明を聴取した。

その内容の適否、さらに事務の執行が適正かつ合理的、効率的に行われているかどうかを主眼として監査した。

第 3 監査の範囲

令和 6 年度の事務事業

第 4 説明聴取日及び場所

1 監査委員による監査

部 名	課 名	説明聴取日	場 所
教育委員会	図書館、庶務課	令和 6 年 10 月 16 日	監 査 委 員 事 務 局
	山崎小学校、祖父江中学校		現 地
	美術館、学校教育課、 スポーツ課、生涯学習課	令和 6 年 10 月 24 日	監 査 委 員 事 務 局
監査委員事務局		令和 6 年 10 月 23 日	
消 防 本 部	総務課、予防課、消防課、 警防課、情報指令課		
総 務 部	財政課、収納課	令和 6 年 10 月 29 日	監 査 委 員 事 務 局
	課税課、 契約検査課	令和 6 年 10 月 31 日	
議会事務局	議事課		
会計課			
総 務 部	総務課、公平委員会事務局、 選挙管理委員会事務局、	令和 6 年 11 月 25 日	
市 民 病 院	管理課、医事課、医療情報 管理室、地域医療連携室	令和 6 年 11 月 27 日	現 地
上下水道部	水道業務課、水道工務課、	令和 6 年 11 月 29 日	監 査 委 員 事 務 局
	下水道課	令和 6 年 11 月 29 日	
経済環境部	環境保全課、商工観光課、 環境施設課、	令和 7 年 1 月 14 日	
	農務課、農業委員会事務局	令和 7 年 1 月 20 日	
資源対策課			
まちづくり部	建築課、都市整備課、 都市計画課	令和 7 年 1 月 20 日	
総合政策部	秘書政策課、 シティプロモーション課、 デジタル推進課、人事課	令和 7 年 1 月 22 日	
建 設 部	用地管理課、防災安全課、 道路課、治水課	令和 7 年 2 月 5 日	
子ども健康部	健康推進課、保育課、 子育て支援課、	令和 7 年 2 月 7 日	現 地
	西町さざんか児童センター		
市民福祉部	祖父江支所、平和支所、 地域協働課、国保年金課、 高齢介護課	令和 7 年 2 月 12 日	監 査 委 員 事 務 局
	市民課、福祉課	令和 7 年 2 月 14 日	

2 補助職員による監査

部 名	課 名	説明聴取日	場 所
教育委員会	美術館、学校教育課、 スポーツ課、生涯学習課、 図書館、庶務課	令和6年10月2日	監査委員 事務局
	山崎小学校、平和中学校	令和6年10月4日	現 地
	片原一色小学校、 祖父江中学校	令和6年10月8日	
消 防 本 部	総務課、予防課、消防課、 警防課、情報指令課	令和6年10月7日	監査委員 事務局
総 務 部	財政課、収納課、課税課、 契約検査課、総務課、 公平委員会事務局、 選挙管理委員会事務局	令和6年10月10日	
会 計 課			
監査委員事務局			
議会事務局	議事課		
市 民 病 院	管理課、医事課、医療情報管理 室、地域医療連携室	令和6年11月1日、 5日、6日	現 地
上下水道部	水道業務課、水道工務課、 下水道課	令和6年11月8日、 11日、12日	
経 済 環 境 部	商工観光課	令和6年12月18日	監査委員 事務局
	環境保全課、環境施設課、 資源対策課、 農務課、農業委員会事務局	令和6年12月20日	
まちづくり部	建築課、都市整備課、 都市計画課		
総合政策部	秘書政策課	令和6年12月17日	
	シティプロモーション課、 デジタル推進課、人事課	令和6年12月25日	
建 設 部	用地管理課、防災安全課、 道路課、治水課	令和7年1月23日	現 地
子ども健康部	健康推進課、保育課、 子育て支援課		
	高御堂中央保育園、 西町さざんか児童センター	令和7年1月28日	
	大里オリーブ児童センター	令和7年1月29日	
市民福祉部	祖父江支所、平和支所、 地域協働課、国保年金課、 高齢介護課、市民課、福祉課	令和7年1月31日	監査委員 事務局

第5 監査の結果

所管の事務事業については、概ね適正に執行されていると認められた。

しかしながら、予期せぬ問題も見受けられた。

システムを使用する際は、操作誤りが重大な問題につながる場合があることを念頭に、マニュアルの確認及び職員間の情報共有等を確実にを行い、操作誤りなどの防止に努められたい。

また、事務執行においては、必要とされる知識や技術を習得するとともに、確実に法令等に従い、課内や関係課間での、さらには関係機関との情報の共有及び確認を怠ることなく進められたい。

全庁的には、ゼロカーボンの取り組みや、借地解消の推進、ハラスメントの防止等に努められたい。

また、稲沢市政を担う職員の確保も課題となってきた。職員には専門性が求められる部署・職種もあり、必要な資格の取得を支援するなど、適切な市民サービスを提供できるよう努められたい。

何においても、最少の経費で最大の効果を上げるよう、事務の効率的執行に努め、収入を増やせばより多くの市民サービスが提供できるという考え方に立ち、引き続き全課において歳入確保に取り組まれたい。

なお、各所管に対し注意を要するものとした事項は、次のとおりである。

○教育委員会

図書館

- ・図書館運営にあたり、専門的知識のある司書資格を有する職員を一定数配置することが望ましく、現在、他の部署に在籍する有資格者の配置換えに留まらず、新たな有資格者の採用、図書館に勤務する職員の公費による資格取得などを検討されたい。

庶務課

- ・学校再編・統合を含む稲沢市学校施設整備基本計画については、様々な意見に耳を傾けながら推進されたい。
- ・屋内運動場の空調整備については、令和6年度と7年度に中学校が整備されるが、小学校においても、授業や学校開放における夏季の暑さ対策だけでなく、避難所としての住環境改善の観点からも可能な限り早急に整備を図られたい。

美術館

- ・令和8年度に荻須没後40年、令和10年度に市制70周年及び美術館開館45周年という記念年を迎えるにあたり、荻須作品を1点でも多く鑑賞に供することができるよう収集に特に力を入れられたい。

学校教育課

- ・就学援助費及び特別支援教育就学奨励費について、昨今の物価上昇を加味し、国へ限度額引き上げを要望するほか、市独自の上乗せを検討されたい。
- ・教員のメンタル面での相談であっても、現在内科医である産業医が受けることになっているが、心療内科医のサポートが受けられるような体制づくりを検討されたい。
- ・学校コンピューターシステム保守委託などについては、システム構築者ということではほぼ1社が随意契約で請け負っていることは止むを得ないことではあるが、契約に当たり、十分に説明を受けた上で見積額を精査されたい。

スポーツ課

- ・屋外の市営プールや学校開放プールは、気温が著しく高くなることにより熱中症による健康被害が生じるおそれがあるばかりでなく、水道代、電気代、薬剤代、施設の老朽化に伴う改修費用などが多くかかっている。一方で利用者数は年々減少していることから、その在り方を検討されたい。

○消防本部

総務課、予防課、消防課、警防課、情報指令課

- ・消防団は火災時には消火活動、大規模災害時には救出・応急救護活動等を行うが、その活動が円滑かつ安全に行えるようにするために、引き続き人員確保に努められたい。
- ・市民病院は医師等も確保されてきており、今まで以上に二次救急に対応できる体制となっていることから、搬送基準に該当する場合は、救急搬送先として、同病院を優先されたい。
- ・稲沢市消防本部ハラスメントに関する調査報告をふまえ、再発防止策を徹底されたい。

○総務部

財政課

- ・財政状況が厳しい中、国費や県費を最大限利用して歳入の確保を図るとともに、各課からの要求を傾聴した上で、メリハリのある予算編成に努められたい。
- ・E S P 業務委託で電気料金の削減が図られたように、従来の手法にとらわれず、最小の経費で最大の効果が得られるよう市役所全体の歳出削減に努められたい。
- ・借地が依然として多くあるので、原課と連携し、その解消に向けて引き続き努力されたい。

収納課

- ・期限内納付を行う大多数の納税者との公平性の観点から、引き続き滞納整理を的確に進められたい。

契約検査課

- ・一般競争入札においては、透明性、公平性の観点から基準額の引き下げなどが行われてきたが、一方で応札業者が減ってきており、これでは競争性が確保されなくなる恐れがある。については、応札業者数の確保に努められたい。
- ・建設業の労働環境の改善や将来の担い手確保等を推進するため、週休２日制工事を拡大されたい。

総務課

- ・利便性の高いおでかけタクシーと経済性に優れたコミュニティバスについては、利用者の声を聞きながらバランスをとって運営されたい。

○会計課

- ・公金取扱に関して、組戻手数料や振込手数料が発生するようになったため、手数料の支出を極力抑制するよう今以上に工夫されたい。

○議会事務局

議事課

- ・議会の動画配信については、リアルタイムで行うことができるように検討されているとのことであるが、早急に実施されたい。

○市民病院

管理課、医事課、情報管理室、地域医療連携室

- ・ 公立病院経営強化プランは、適切な内容で策定されているので、その具現化を早急に図られたい。
- ・ 東海北陸厚生局の個別指導を受け、診療報酬の返還が生じたことは誠に遺憾ではあるが、これを契機にして、請求漏れや査定減も減らし、的確に診療報酬が得られるように、事務職員、医師等の医療技術者ばかりでなく委託職員も含め、病院全体で取り組まれない。
- ・ 地域の医療機関との連携は、経営強化プランの主要事業として位置づけられ、患者の紹介・逆紹介が進められているところであるが、収益を導き出せない状況である。については、他の収益確保策にも取り組むとともにS P D（医療材料管理業務）による材料費の削減等、費用の抑制にも努め、公営企業という立場もしっかりと踏まえ経営されたい。

○上下水道部

水道業務課・水道工務課

- ・ 今後、想定される自然災害に備え、安心・安全な水を確実に供給するためにも、基幹管路等の耐震化及び老朽化対策は不可欠であり、遅滞なく工事が完了するよう事業を進められたい。
- ・ 人口減少等により水需要の伸びが期待できない一方で、施設の更新や物価高騰による経費の増大に加え、県水の値上げを勘案し、長期的な視点に立ち、健全かつ効率的な事業運営に努められたい。

下水道課

- ・平六地区コミュニティプラントの日光川下流流域下水道への編入に伴い、日光川下流流域下水道推進協議会に稲沢市が参画することになった。今後は、近い将来に実施する見込みである集落排水事業の公共下水道事業への編入の準備を計画的に進められたい。

○経済環境部

環境保全課

- ・住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金の拡充、ＬＥＤ照明器具の導入など実施されているが、ゼロカーボンシティの実現に向けて、なお一層力を入れられたい。
- ・狂犬病予防法を遵守し、全ての犬に狂犬病予防注射が接種されるよう、飼い主に対し強く働きかけられたい。

商工観光課

- ・産業会館については、利用率が極めて低く、指定管理料等の運営費が使用料収入を大幅に上回っている現状に鑑み、遅くとも現在の指定管理委託が終了する令和１０年度までに、その在り方を検討されたい。
- ・中小企業が省エネ診断や省エネ導入などに取り組み、カーボンニュートラルが推進されるよう、補助金の拡充など支援に努められたい。

環境施設課

- ・祖父江霊園については、市民の声を聞きながら、墓石を前提とした墓所の貸し付けに加え、樹木葬や合葬墓等の設置も検討されたい。今後、墓じまいが進み霊園使用料の滞納が多くなることも懸念されるので、的確な滞納整理に努められたい。
- ・ごみ処理施設広域化計画の具現化のための一宮市との協議にあっては、稲沢市民の利便性が損なわれないように留意するとともに、稲沢市側の意見も反映されるよう努められたい。

農務課・農業委員会事務局

- ・農業振興のために多数の補助事業を実施しているので、それらを有効に活用し、意欲のある営農者を支援し、遊休農地の増加傾向に少しでも歯止めがかけられるよう努められたい。

資源対策課

- ・ごみボックス設置費補助金について、鳥獣害に対する有効な手段であるため、申請が増えるよう引き続き努力されたい。
- ・ミックスペーパーの回収は、可燃ごみを減量化しゼロカーボンに大きく寄与するばかりでなく、売却代金が各行政区に還元される素晴らしい事業なので、回収量が増えるよう市民への啓発に努められたい。

○まちづくり部

建築課

- ・三世代すまいる支援補助事業については、地域コミュニティ維持、空き家発生抑制などに有効な施策であるので、さらなる周知に努められたい。
- ・地震対策を促進するための住宅耐震改修補助金などについては、南海トラフ地震などに備えるために、十分な予算額を確保しつつ、今後も継続されたい。

都市整備課

- ・稲沢公園については、リニューアルに合わせて、借地がわずかに存在するので、その解消を図られたい。

都市計画課

- ・地域住民の思いを汲みつつ、粘り強く対話を重ねながら、新たな住居系市街地の形成を進められたい。
- ・名古屋鉄道㈱とも協力しながら、国府宮駅周辺再整備を進められたい。

○総合政策部

秘書政策課

- ・企業版ふるさと納税については、派遣型も含め、企業にとっても市にとっても相互に利益がある仕組みであるので、支援業務委託なども活用しながら、今後も積極的に進められたい。

シティプロモーション課

- ・「ヤバいなざわ」シティプロモーション事業は、キャッチコピーにインパクトがあり、一定の効果があつたと思われるので、今後もこのような取組みを続けられたい。
- ・ふるさと応援寄付については、目玉返礼品が提供できなくなり、苦戦を強いられているが、少しでも呼び込めるように体験型の返礼など工夫に努められたい。

デジタル推進課

- ・自治体情報システムの標準化・共通化事業については、システム事業者の人的リソース不足等により、福祉系3業務に移行の遅滞が発生しているが、国の動向を注視しつつ、システム事業者との協議を続け、適切に対応されたい。

人事課

- ・社会人経験者採用において、多職種・多人数の申込があつたことから、SPI検査導入は一定の効果があつたものと認められる。今後も適切に職員が採用できるよう、試験の方法、募集の仕方などの改善に努められたい。

○建設部

用地管理課

- ・稲沢駅東西自由通路耐震補強事業については、東側の橋台を補強することによって西側の橋台が耐えられなくなることが判明した。耐震補強設計と工事の手順について、今年度の調査実施設計を無駄にすることなく、早急に方向性を定められたい。
- ・道路公園通報システム「いなレポ」の通報者に対し、即座に対応ができないものについては、返信をするなど市民に不安を持たれないような対応を検討されたい。

防災安全課

- ・災害時の避難者対応については、女性職員を増やすなどのほか、女性の声を取り入れたものにされたい。

道路課

- ・土木職の職員の配置については、道路課を始め土木職の職員の配置を必要とする課にあっては、土木職の採用を人事課だけに任せ切りにするのではなく、大学などへの募集活動を行うなど、自らも人材確保に努められたい。

治水課

- ・小学校校庭貯留施設については、小正小学校を皮きりに順次整備されるが、流域における浸水被害の軽減を図るために大変有用な雨水対策となり得ると考える。一方、児童の安全性、利益性などにも十分に配慮されるべきであるので、小学校としっかり協議しながら、遅滞のないように進められたい。

○子ども健康部

健康推進課

- ・産婦配食サービス、産婦健康診査などの新規・拡充事業については、少子化対策として有用なものであると評価できる。しかしながら、十分に活用されているとはいえないので、所期の目的が達せられるよう広く周知に努められたい。

保育課

- ・祖父江地区の公立保育園等の再配置にあつては、地域の理解が得られるように保護者及び関係各所に対して丁寧な説明を行いながら計画を進められたい。
- ・従来の障害児個人を支援するという保育ではなく、障害児を受け入れた保育園等全体で支援できるように保育士や保育支援員を加配するインクルーシブ保育については、全国的に見ても先進的な取組みで高く評価できる。については、民間の保育現場の声にも耳を傾けながら、さらに推進されたい。

子育て支援課

- ・児童クラブは、必要度の高い順に整備していくことになるが、その際、整備手法については、時間的余裕、経済性などを総合的に勘案して決められたい。

○市民福祉部

地域協働課

- ・総合文化センター解体工事については、予定どおりに進められているところではあるが、来年度まで続く工事なので、今後も計画に沿った進捗管理に努められたい。

国保年金課

- ・国民健康保険特別会計の財政状況は厳しいので、公平性の観点からも、未納となっている税金の確保にも努められたい。
- ・マイナンバーカードの保険証利用登録が少しでも進むよう啓発に努められたい。

高齢介護課

- ・介護職員わくわく生き生き補助事業については、介護サービス事業者にとって、人材の確保や介護サービスの質の向上を図る上で大変有意義なものである。来年度は事業が活用されるよう、事業所への周知・啓発に努められたい。

福祉課

- ・寄付金について、寄付者へ使途を報告できるよう工夫されたい。